

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成21年10月22日 (2009.10.22)

【公開番号】特開2007-87932(P2007-87932A)

【公開日】平成19年4月5日 (2007.4.5)

【年通号数】公開・登録公報2007-013

【出願番号】特願2006-213109(P2006-213109)

【国際特許分類】

H 0 5 F 3/04 (2006.01)

H 0 1 T 23/00 (2006.01)

H 0 1 T 19/04 (2006.01)

【F I】

H 0 5 F 3/04 J

H 0 1 T 23/00

H 0 1 T 19/04

【手続補正書】

【提出日】平成21年9月3日 (2009.9.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 3】

前記放電電極に印加される直流高電圧が、正極性の場合は、前記正極性倍電圧整流回路の出力電圧を、前記放電電極と前記接地電極間の抵抗と前記第 2 の抵抗とで比例配分した電圧値となり、負極性の場合は、前記負極性倍電圧整流回路の出力電圧を、前記放電電極と前記接地電極間の抵抗と前記第 1 の抵抗とで比例配分した電圧値となることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の高電圧発生回路。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 7】

前記放電電極に印加される直流高電圧が、正極性の場合は、前記正極性倍電圧整流回路の出力電圧を、前記放電電極と前記接地電極間の抵抗と前記第 2 の抵抗とで比例配分した電圧値となり、負極性の場合は、前記負極性倍電圧整流回路の出力電圧を、前記放電電極と前記接地電極間の抵抗と前記第 1 の抵抗とで比例配分した電圧値となることを特徴とする請求項 5 又は 6 に記載のイオナイザー。